

経営比較分析表（令和4年度決算）

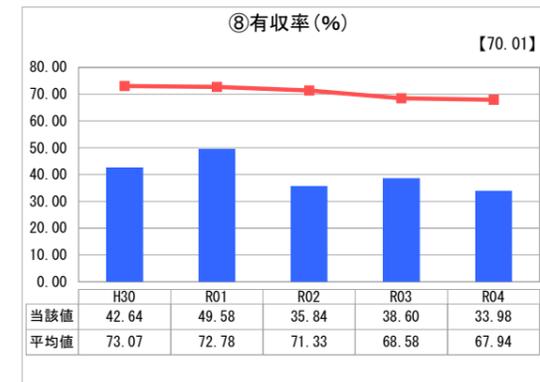
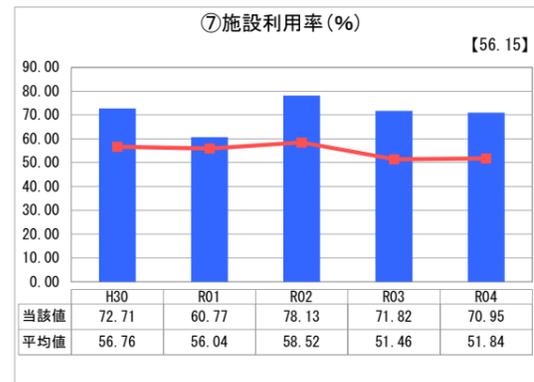
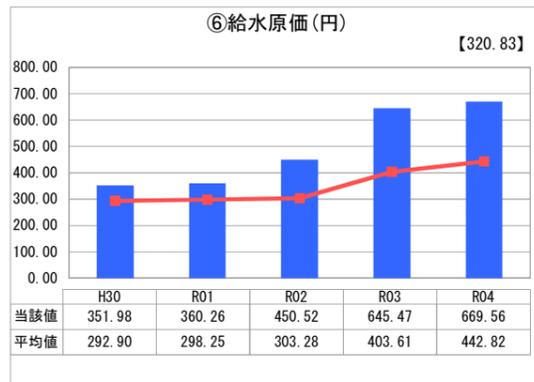
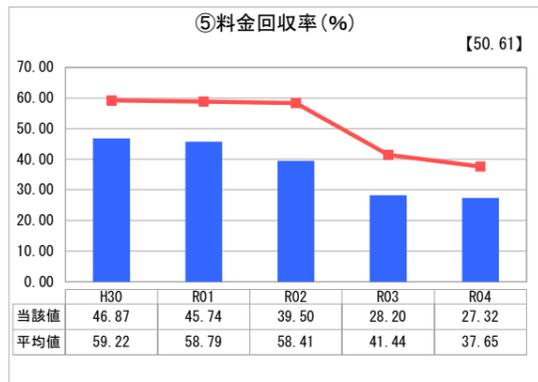
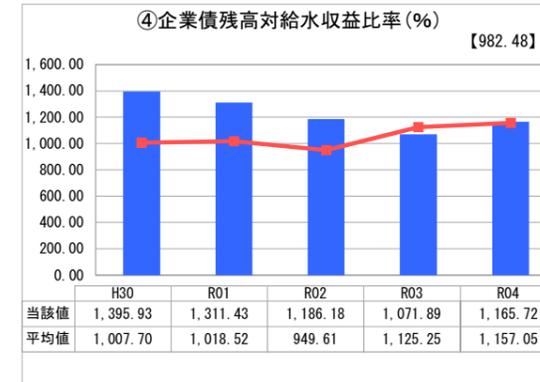
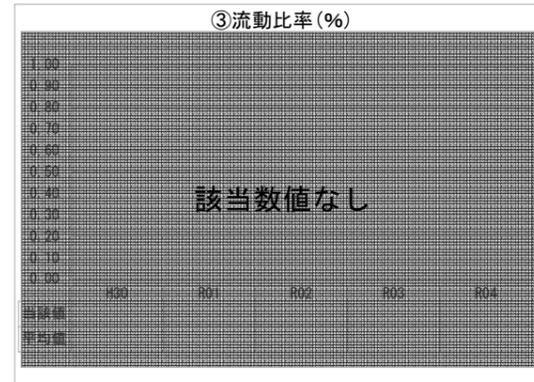
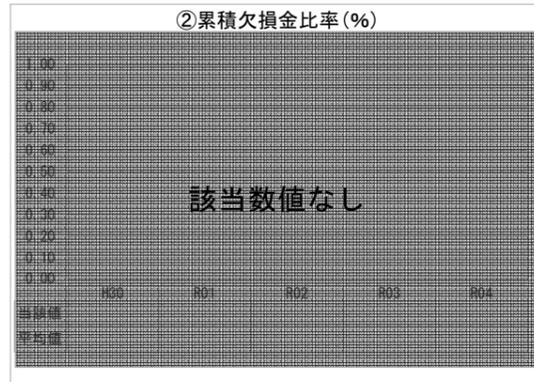
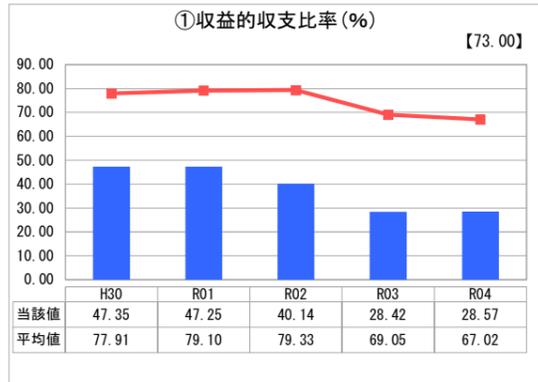
高知県 大豊町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D4	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	該当数値なし	62.06	2,530	

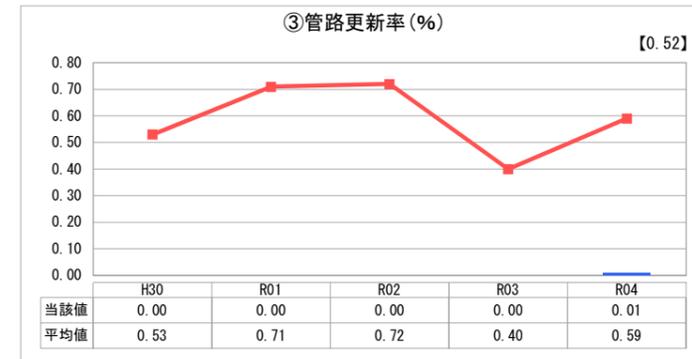
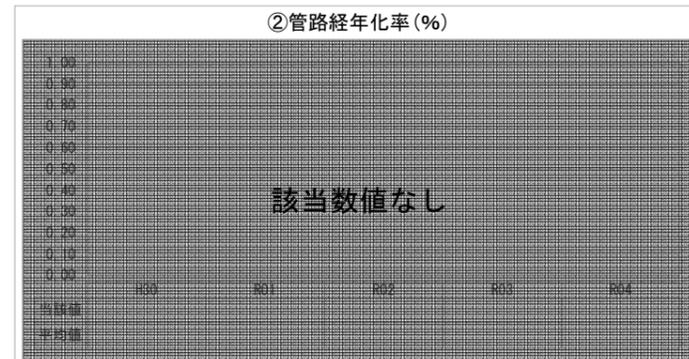
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
3,223	315.06	10.23
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
1,979	131.45	15.06

グラフ凡例		
■	当該団体値(当該値)	
—	類似団体平均値(平均値)	
【	令和4年度全国平均	

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

左図の指標から、当町では赤字経営が年々続いている。その一因として、既設管の老朽化に伴う改修や修繕が毎年のように行われていることが挙げられ、特に冬場の凍結による修繕が頻発している。それは⑥給水原価にも影響した。

④企業債残高対給水収益比率は、類似団体と比較したら同程度ではあるが、依然高い水準にある。今後国費を利用した水道施設の更新も計画されているため、企業債残高対給水収益比率はしばらく増加に転じると考えられる。

⑧有収率については、近年は50%にも満たない状況であり、漏水への対応が急務である。令和5年度から継続して水道施設の更新工事を行っていく計画となっているので、少しずつ漏水は解消される見込みである。

2. 老朽化の状況について

当町は管路の老朽化が著しく、年々軽微な修繕を繰り返している。③管路更新率の図からも分かるようにここ数年は管路の更新が出来ていなかったが、令和5年度から継続して水道施設の更新工事を行っていく計画となっており、老朽化の解消につなげたい。

全体総括

上記のことから、当町が行うべきなのは施設更新工事の確実な履行である。

また、赤字経営脱却のためにも料金の引上げ、料金回収率の増加について検討、実施していく必要があると考える。